



第 5 回例会

2023.08.16

会員 70 名中 29 名出席 出席率 41.43%

修正 52 名出席 出席率 74.29%

メイクアップ 23 名

例会場：クーラクーリアンテサンパレス 福島市上町 4-30 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 菅野 良二 会長



会長挨拶させていただきます。前回の第四回家族夜間例会が三年ぶりに開催することができ有意義な時間を皆様と過ごすことが出来たこと、親睦委員会の皆様、SAA の皆様のご協力に感謝申し上げます。

8 月 1 日～2 日は大阪第 2660 地区、福島第 2530 地区合同インターアクト研修会で成蹊高校がホスト高校との事で当ロータリークラブからは、私、鈴木洋子幹事、青少年奉仕伊藤弘子委員長、植松みち子委員、の 4 名で参加させて頂きました。1 日はパルセ飯坂にて福島県内のインターアクト生と大阪インターアクト生との互いの報告会が開催されました。翌日 2 日はバス 4 台に分散し被災地相馬市に行き 2011 年 3 月 11 日当日の東日本大震災の状況を相馬市役所の体育館にて語り部の方から聞きました。学生達は当時 4 歳で詳しくわからないとのことですが語り部の方が講和すると両インターアクト生も真剣に聞き入り、中には涙ぐんでいた学生もいました。その後被災地である各地域、被災後のいくつかの復興施設を訪問、その後は場所を変え両地区のインターアクト生同士の意見交換が活発に行われていました。今後、日本の何処でいつ災害が起こるかわからない状況で互いに助け合う精神が合同研修会で身に付いたことかと思われまます。昨日、大阪開明高校の三本杉先生(元成蹊高校インターアクト顧問)から連絡があり『1 人も体調不良者も出ず無事に戻りました。福島の方々のおもてなしに感謝します』と連絡がありました。又、2660 地区、2530 地区の今回の参加学生からこれからもオンラインで交流を続けて行きたいとのこと、この縁を大切に互いの交流を活発していきたいとのこと。学生にとっても、有意義のある活動だったかと思ひます。

2 日の夜間家族例会の当日、笠財団委員長から三年越しのグローバル補助金が採択されたとの報告があり福島南ロータリークラブとして初めてのグローバル補助金でのフィリピン・セブの女子高校支援が今年度に行われることになりました。笠財団委員長はじめ会員の皆様に本当に感謝申し上げます。

是非、来年 2 月には安齋常克国際奉仕活動委員長を団長にグローバル補助金の相手国のセブ・ロータリークラブとザ・シスターズ・メアリースクール・ガールズタウン高校に表敬訪問しながら会員のご家族の皆様と一緒に国際奉仕活動をし、その後は、セブは世界でも唯一リゾート地でもありますのでセブ島を皆様と堪能して来たいと思っております。是非多くの会員の皆様、ご家族の皆様のご参加して頂きたく思いますのでよろしくお願い申し上げます。会長挨拶とさせていただきます。

◆ロータリーの友の時間 佐久間 功 副委員長

RC 情報教育委員会 佐久間 功 副委員長より、今月号の「ロータリーの友」の読みどころをいろいろ紹介いただきました。

- ・ RI 会長 (ゴードン R. マッキナリー) メッセージ。思いやりの心で行動しよう！
- ・ 特集記事「生涯の友が見つかる場所へ」から『子年生まれの二人 (成田 RC)』。
- ・ 県北第一分区 IM (ホスト福島西 RC) より『語り合い 次につなげる』と題し



人と人を「つなげる」ための危機管理について、それから、会津東山温泉の大赤字だった旅館を立て直したことは、何かを「つなげる」こととなった話。談話は(株)くつろぎ宿 代表取締役社長 深田 智之さん。

この他にもメルボルン国際大会レポート等読みどころが多数ありますので、皆さん、ぜひお読みください！

## ◆新会員スピーチ① 李 喜蔓さん



皆さんこんにちは！李喜蔓(リ・ヒマン)と申します。名前の由来は、祖父が、人に「喜び」を「蔓(つる)」のように与える人生でありますようにと名付けてくれました。

今年満70歳です。縁あって福島に住んでいる韓国人の女性と結婚し、福島市民になりました。

私は大学を卒業し、韓国一大企業であるサムスン電子に入りました。いろいろな経験を積み、最終的には社長直轄の経営改革の仕事を担当しました。

スキルアップのため、日本の長野にある会社に出向し約6年間勤めました。その時に日本語も少し、そして日本の暮らしや文化も知ることができました。

実は、今も私はサムスンに部品を納品する会社を経営しています。皆さんの持っているスマホの中に入っている部品を製造しています。私の人生で「サムスン」という会社は切っても切れない関係にあります。

次は私個人の話です。私はサムスンに入ってすぐに結婚しましたが、20年後離婚をしました。それから最初にお話ししました、福島に住んでいるチョンさんと4年前に再婚をしました。実の子供はいませんが、チョンさんの息子が私の息子です。その息子は大学を卒業し社会人となりました。

妻(チョンさん)との出会いは、2016年に妻が企画をした日韓交流のプログラムでした。当時、私が団長を務めた合唱団100人で福島を訪問して9泊した際、サポートしてくれたのが妻でした。その頑張りに強く心を打たれたのがきっかけです。女性一人で大企画を成功させ、さらに福島は大震災3.11により韓国からとても危険だと言われていた時でしたから、一層感動しました。そんな彼女の言う「小さな日韓交流」に私も賛同し、少しでもお手伝いできたらと協力をしていたら、いつの間にか結婚に至りました。

人生は早いもので、私は70歳になりました。運命に導かれ、福島の地に来ました。私の生きる道は、妻のささやかな心の支えとなって暮らすことです。そして、私のささやかな力でもできること、誰かのためにできることをここ福島でやりながら人生を送りたい。福島を愛し、福島で生きる。同じ福島で生きる皆さんこれからもよろしくお願ひします。



**SAMSUNG**

## ◆新会員スピーチ② 加藤 良子さん



加藤良子です。まず自己紹介させていただきます。職歴としましては、市役所職員や、施設の管理栄養士などを務め平成18年に建築士として不動産業を営む主人と再婚しました。ただ、今から7年前その主人はガンで亡くなりました。病気が分かってから私は管理栄養士の知識や経験を活かした日々のサポートで、ガンの告知から10年、主人と一緒にいることができました。

その後の仕事は、主人の会社を建築ではなく不動産を中心として家族で経営しています。同業他社と差別化するために、何でも相談できる「何でも(不動産)屋」を目指し、買い取り・分譲だけでなく、相続相談なども積極的に受けています。

趣味は、ダイビング、釣り、旅行です。それとハンターをしていた主人と北海道で狩猟をする際、私はいつもドライバーとして、ジープで雪の中を駆け抜けたり、山道を走ったりしたのがとても爽快な体験でした。

釣りも北海道の絶滅危惧種(だけど食べられる)オシロコマを釣りました、今は相馬港と、新潟からの船釣りをしています。ダイビングはセブにも行っています。

最後にこれからやりたい事は、私を生かしてくれた人たちへの恩返しです。

これからも少しずつでも一步一步進んで行きたい。そして、ロータリーに導いてくださった事に感謝します。



**サンケン** 土地・建物